



## 平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月13日

上場取引所 東

上場会社名 大幸薬品株式会社

コード番号 4574 URL <http://www.seirogan.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 柴田 高

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役財務本部長

(氏名) 吉川 友貞

TEL 06-6382-1135

四半期報告書提出予定日 平成24年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	4,858	32.9	832	—	843	—	702	—
23年3月期第3四半期	3,654	△54.5	△519	—	△492	—	△923	—

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 684百万円 (—%) 23年3月期第3四半期 △972百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	54.32	53.30
23年3月期第3四半期	△72.06	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%		
24年3月期第3四半期	11,679		8,965		76.6	
23年3月期	11,253		8,293		73.6	

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 8,944百万円 23年3月期 8,287百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
24年3月期	—	0.00	—		
24年3月期(予想)				5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,400	38.5	450	—	460	—	350	—	27.04

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期3Q	12,984,000 株	23年3月期	12,913,200 株
24年3月期3Q	126 株	23年3月期	126 株
24年3月期3Q	12,941,219 株	23年3月期3Q	12,815,066 株

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、平成24年2月13日付にて、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	7
(4) セグメント情報等 .....	7
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響により低下した生産活動が回復に向かったものの、欧州債務問題の長期化や円高の影響が当面懸念される等、依然先行き不透明な状況で推移致しました。

この様な状況の下、当社グループの当第3四半期連結累計期間の連結経営成績は、以下の通りとなりました。

医薬品事業におきましては、堅調な店頭販売を背景に国内向け出荷が前年同期に比して増加したことに加え、中国市場での販売回復により海外向け出荷も堅調であったことから、医薬品事業全体の売上高は前年同期を上回って推移致しました。

感染管理事業におきましても、著しい返品により売上高が大幅に落ち込んだ前年同期に比し、返品の縮小と出荷の増加により、売上高が顕著に回復致しました。

これらにより、当第3四半期連結累計期間の売上高は、対前年同期比1,203百万円増(32.9%増)の4,858百万円と大幅に増加し、売上総利益も対前年同期比833百万円増(33.3%増)となる3,335百万円となりました。

また、広告媒体見直し等による広告宣伝費の減少に加え、前連結会計年度より開始した事業構造改善施策(感染管理事業の自社在庫圧縮や既の実施した希望退職者の募集等)による在庫保管料の減少や一時的な人件費の減少、スケジュールの見直しによる研究開発費の減少等から、販売費及び一般管理費は、対前年同期比518百万円減(17.2%減)の2,503百万円となりました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の営業損益は対前年同期比1,352百万円増の832百万円の利益(前年同期は519百万円の損失)となり、経常損益も対前年同期比1,335百万円増の843百万円の利益(前年同期は492百万円の損失)となったことから、損益面につきましても顕著に回復致しました。一方、確定拠出年金制度への移行等に伴う退職給付制度改定損や営業拠点(東京)移転に伴う所有不動産の売却契約に係る減損損失等の特別損失140百万円を計上致しましたが、前年同期におきましても投資有価証券評価損や減損損失、たな卸資産処分損等の特別損失126百万円を計上したこと、また、前年同期は法人税等調整額299百万円を計上したこと等もあり、当第3四半期連結累計期間の四半期純損益は対前年同期比1,626百万円増の702百万円の利益(前年同期は923百万円の損失)となりました。

セグメント別の業績につきましては以下の通りであります。

## (医薬品事業)

国内向け売上高につきましては、前年同期に比して、流通在庫が減少して推移したことに加え、例年以上に店頭販売促進策を強化し、当社製品の陳列スペース拡充を図ったこと等から、主力製品『正露丸』及び『セイロガン糖衣A』の店頭販売が増加し、当社のお荷も堅調に推移致しました。また、口中溶解タイプの新たな止瀉薬『ピシャット錠』の販売開始や、小児五疳薬『榎屋奇応丸』の独占国内販売権を取得したこと等もあり、当第3四半期連結累計期間の売上高は前年同期を上回って推移致しました。

海外向け売上高につきましても、全般的に円高影響を受けつつも、重点エリアとする中国市場での出荷が回復(前年同期は主に現地での販売ライセンス更新手続きに伴う出荷停止の影響から、出荷が大幅に減少)したことから、前年同期を上回って推移致しました。また、中国市場で初めて『セイロガン糖衣A』の販売も開始致しました。

これらにより、当第3四半期連結累計期間の医薬品事業の売上高は、対前年同期比435百万円増(12.2%増)となる4,008百万円となりました。また、損益面につきましては増収に伴う売上総利益の増加に加え、前年同期に比して新聞広告を削減したこと等による広告宣伝費の減少(当該減少分は通期ではTVコマーシャル放映等に充当)や、感染管理事業の売上高増加に伴う医薬品事業の営業関連費用の配賦割合低下等により、セグメント損益は対前年同期比435百万円増(29.7%増)となる1,898百万円の利益となりました。

## (感染管理事業)

前年同期に比して、流通在庫の減少による返品の縮小に加え、店頭製品陳列の演出強化やTVコマーシャル放映等の効果もあり、一般用『クレベリンゲル』を中心とする主力製品の出荷が顕著に回復し、当第3四半期連結累計期間の感染管理事業の売上高は、対前年同期比769百万円増の831百万円(前年同期は62百万円の売上高)と大幅に増加致しました。また、当第3四半期には、無人状態での車室内の除菌・消臭を目的とした新製品「車両用クレベリン」を株式会社デンソーと共同開発する等、業務用における新たな戦略も開始しております。一方、損益面につきましては、事業構造改善効果による在庫保管料等の減少に加え、広告宣伝費や研究開発費等も減少したものの、セグメント損益におきましては、利益計上までには至らず、23百万円の損失(前年同期は865百万円の損失)となりました。

(その他事業)

その他事業につきましては、主に木酢液を配合した入浴液や園芸用木酢液等の製造販売を行いました。売上高は対前年同期比1百万円減(6.5%減)の17百万円となりました。セグメント損益は前年同期に比し、研究開発費等の費用減少により損失幅は縮小したものの13百万円の損失となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間における資産合計は11,679百万円(前連結会計年度比426百万円増)となりました。また、負債合計は2,714百万円(同245百万円減)、純資産合計は8,965百万円(同672百万円増)となりました。前連結会計年度からの主な変動要因は、売上債権の増加を主とする流動資産684百万円の増加、営業拠点(東京)移転に伴う所有不動産の売却等による固定資産258百万円の減少、退職金支払いや広告宣伝に係る未払金の減少等による流動負債367百万円の減少、退職給付制度改定に伴う退職給付引当金の増加等による固定負債121百万円の増加、また、四半期純利益の計上等による利益剰余金638百万円の増加であります。なお、自己資本比率は前連結会計年度から3.0ポイント上昇し、76.6%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期の通期連結業績予想につきましては、平成24年2月9日付にて、「業績予想の修正に関するお知らせ」を別途開示しております。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,185,590	3,830,473
受取手形及び売掛金	1,322,082	2,639,188
商品及び製品	619,447	625,712
仕掛品	597,929	476,786
原材料及び貯蔵品	309,289	305,427
その他	406,105	258,242
貸倒引当金	△9,217	△19,727
流動資産合計	7,431,226	8,116,103
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,110,914	1,090,450
機械装置及び運搬具(純額)	212,721	237,563
土地	1,552,337	1,397,788
その他(純額)	298,855	141,908
有形固定資産合計	3,174,828	2,867,711
無形固定資産	77,470	70,893
投資その他の資産	569,786	624,904
固定資産合計	3,822,085	3,563,509
資産合計	11,253,312	11,679,613
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	314,443	360,756
未払法人税等	5,781	25,159
返品調整引当金	246,000	300,453
賞与引当金	123,940	60,731
その他	1,350,815	926,874
流動負債合計	2,040,980	1,673,975
固定負債		
退職給付引当金	309,830	442,311
役員退職慰労引当金	6,400	8,000
長期未払金	565,700	565,700
その他	37,196	24,388
固定負債合計	919,126	1,040,400
負債合計	2,960,107	2,714,375
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	137,064	155,437
資本剰余金	48,293	66,666
利益剰余金	8,212,800	8,851,206
自己株式	△204	△204
株主資本合計	8,397,954	9,073,105
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	11,313	14,328
為替換算調整勘定	△121,331	△142,560
その他の包括利益累計額合計	△110,017	△128,231
新株予約権	5,268	20,364
純資産合計	8,293,204	8,965,237
負債純資産合計	11,253,312	11,679,613

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第 3 四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第 3 四半期連結累計期間 (自 平成22年 4 月 1 日 至 平成22年12月31日)	当第 3 四半期連結累計期間 (自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年12月31日)
売上高	3,654,950	4,858,589
売上原価	1,194,564	1,468,808
売上総利益	2,460,385	3,389,781
返品調整引当金戻入額	97,000	246,000
返品調整引当金繰入額	55,540	300,453
差引売上総利益	2,501,845	3,335,328
販売費及び一般管理費	3,021,668	2,503,071
営業利益又は営業損失 (△)	△519,823	832,256
営業外収益		
受取利息	2,702	1,381
受取配当金	2,077	1,513
受取賃貸料	12,143	3,747
受取保険金	—	7,980
保険解約戻金	63,605	—
その他	10,654	12,549
営業外収益合計	91,184	27,173
営業外費用		
為替差損	57,047	14,954
その他	6,430	1,140
営業外費用合計	63,477	16,094
経常利益又は経常損失 (△)	△492,116	843,335
特別損失		
固定資産除却損	1,698	—
減損損失	48,718	35,298
投資有価証券評価損	65,585	—
災害による損失	—	5,432
たな卸資産処分損	10,559	—
退職給付制度改定損	—	100,017
特別損失合計	126,562	140,747
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失 (△)	△618,679	702,587
法人税、住民税及び事業税	5,666	14,870
法人税等調整額	299,167	△15,254
法人税等合計	304,834	△383
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失 (△)	△923,513	702,971
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	△923,513	702,971

(四半期連結包括利益計算書)  
(第 3 四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第 3 四半期連結累計期間 (自 平成22年 4 月 1 日 至 平成22年12月31日)	当第 3 四半期連結累計期間 (自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失 (△)	△923, 513	702, 971
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	6, 474	3, 014
為替換算調整勘定	△55, 928	△21, 228
その他の包括利益合計	△49, 453	△18, 214
四半期包括利益	△972, 966	684, 757
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△972, 966	684, 757
少数株主に係る四半期包括利益	—	—



## (3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (4) セグメント情報等

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	医薬品事業	感染管理事業	その他事業			
売上高						
外部顧客への売上高	3,573,457	62,264	19,227	3,654,950	—	3,654,950
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	3,573,457	62,264	19,227	3,654,950	—	3,654,950
セグメント利益又はセグメント損失(△)	1,463,250	△865,907	△19,294	578,047	△1,097,871	△519,823

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額△1,097,871千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,097,871千円が含まれております。

2. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

各報告セグメントに配分していない全社資産において、土地等の譲渡契約の締結に伴い、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては48,718千円であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	医薬品事業	感染管理事業	その他事業			
売上高						
外部顧客への売上高	4,008,708	831,904	17,976	4,858,589	—	4,858,589
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	4,008,708	831,904	17,976	4,858,589	—	4,858,589
セグメント利益又はセグメント損失(△)	1,898,290	△23,112	△13,356	1,861,821	△1,029,564	832,256

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額△1,029,564千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,029,564千円が含まれております。

2. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「医薬品事業」及び「感染管理事業」セグメントの資産において、土地等の譲渡契約の締結に伴い、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては35,298千円であります。

- (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。